

科目名・単位数	会社法Ⅱ 2単位	科目分類	法律系	基本科目
配当年次	1年次・秋学期・昼・夜	担当教員	いしやま たくま 石山 卓磨	
履修形態	選択必修			
授業概要	春学期の会社法の授業で扱わなかった、(1) 株式制度、(2) 組織再編制度、(3) M&A 等を扱う。(1) の株式制度では、株式の種類、譲渡手続、譲渡制限、募集株式の発行、株主名簿の機能、株式振替制度、自己株式の取得等を説明し、(2) の組織再編では、設立、事業譲渡、合併、会社分割、株式交換、株式移転等を扱う。(3) のM&A では、その意義・手続規制・近時の判例動向等について扱う。			
到達目標	上記諸制度を理解することにより、現実の企業社会の諸活動を見通すことのできる知見を養う。			
授業方法	講義形式			
事前・事後学習	各回の講義に臨むにあたり、授業計画書が示すテーマについて、各自の基本書の該当部分を読んで予習をしてこること(90分)。各回の授業終了後は復習をして、よく理解できなかった点については、次回以降に要領よく質問できるよう整理しておくこと(90分)。			
成績評価の方法	平常点20%、レポート80%			
フィードバックの方法	小テストの解説は授業時間内に行う。			
履修上の注意	授業時間には限りがあるので、そのつど自己学習で補足し、疑問を残さないようにして、次の授業に進んでほしい。			
授 業 計 画				
第1回	(1) 株式の意義・権限 (2) 各種の株式の種類と機能(優先株・議決権制限株式・譲渡制限株式・取得請求権付株式・取得条項付株式・全部取得条項付種類株式・拒否権付種類株式等)			
第2回	(1) 株主平等の原則 (2) 株式の譲渡と譲渡制限 (3) 振替株式の譲渡			
第3回	(1) 株主名簿と名義書換 (2) 名義書換未了株主の地位 (3) 失念株			

第4回	(1) 自己株式の取得規制 (2) 株式発行の瑕疵 (3) 株式の相互保有規制
第5回	(1) 会社の資金調達方法 (2) 募集株式の発行手続
第6回	(1) 「特に有利な金額」(会 199Ⅲ・201Ⅰ)の意義 (2) 判例動向(忠実屋・いなげや事件(東京地決平成元・7・25)・宮入バブル事件(東京地決平成元・9・5))
第7回	(1) 新株発行の差止請求(会 210) (2) 新株発行無効の訴え(会 828Ⅰ)
第8回	(1) 新株予約権の意義と発行 (2) ストック・オプションの利用(役員の業績連動型インセンティブ報酬)
第9回	会社役員の報酬規制(会 361)
第10回	株式会社の設立(1) (1) 株式会社の設立方法(募集設立・発起設立) (2) 変態設立規制(現物出資・財産引受(会 28①②))
第11回	株式会社の設立(2) (1) 払込みの仮装(預合い(会 965)・見せ金) (2) 発起人の権限
第12回	組織再編制度(1) (1) 事業譲渡 (2) 合併
第13回	組織再編制度(2) (1) 会社分割 (2) 株式交換・株式移転
第14回	M&Aの意義・手続(株式公開買付)
第15回	(1) M&A防衛策と判例状況(ライブドア事件(東京地決平成17・3・11)、ブルドッグ・ソース事件(最判平成19・8・7)) (2) MBOに関する判例(レックス・ホールディング事件(東京地判平成23・2・18))
テキスト	授業用に配布する資料
参考図書	石山卓磨・「現代会社法講義(第3版)」(成文堂)